

「STOP! 安倍」 6・1シンポジウム

日時：2014年6月1日(日)13:30開始 13:00 開場
16:30 テモ出発

場所：天王寺区民センター

参加費：無料

瀬戸 厚さん
山口大学教授



高作 正博さん
関西大学教授



永嶋 靖久さん
弁護士



服部 良一さん
前衆議院議員



No!

特定秘密保護法 集団的自衛権 憲法改悪



「STOP!安倍」6・1シンポジウム 呼びかけ人(50音順、敬称略)

あわはら富夫(神戸市議会議員)、大森正子(辺野古に基地を絶対つくらせない大坂行動)、大湾宗則(京都沖縄県人会)、北上哲仁(川西市議会議員)、黒石昌朗(9条改憲阻止共同行動事務局)、小林圭二(元京都大学原子炉実験所講師)、三野英二(関大校友連絡会)、新開純也(反戦・反貧困・反差別共同行動in京都)、難波希美子(大阪自然環境保全協会)、西山直洋(全日建連労組関西地区生コン支部)、三浦たけお(守口市議会議員)、三浦俊一(釜ヶ崎日雇労働組合)

連絡先：大阪市北区西天満2-3-16 絹笠ビル1F 大野協同法律事務所気付 TEL06-6365-5699

安倍政権は、昨年の特特定秘密保護法の強行成立に続いて、集団的自衛権の行使容認を閣議決定しようとしています。

憲法9条を事実上破棄するに等しい憲法解釈の重大な変更を、国会における審議すら経ずにおこなおうというのです。

安倍政権の特徴は、議会における「数の力」にもものを言わせて、反対意見、少数見は無視してもかまわないという強権的な政治手法です。

沖縄・辺野古における新基地建設強行と日米軍事同盟の強化、アベノミクスの名による「国家戦略特区」や派遣法の大改悪による戦後労働法制の解体、生活保護基準の引き下げと社会保障の否定など全面的な攻撃を進めています。

また昨年末に靖国神社へ参拝を強行したことに見られるように、中国、韓国などを敵視するナショナリズムを扇動しています。

恐るべき独裁政治の登場です。

4月に入ると、武器輸出の解禁と「原発ゼロ」を目標とする政府決定の撤回を矢継ぎ早に閣議決定しました。

「安倍政権の暴走」に多くの人びとが危機感をつのらせています。

なぜこのような「暴走」がまかり通っているのか。

この「暴走」の先に待ち構えているものは何か。

そして民衆の力で憲法改悪と戦争への道を食い止めることができるのか。

みなさんとともにこの問題を考えていきます。

ぜひご参加下さい。

郵便振替口座番号

口座番号 0090-0-256104 名称 改憲阻止共同行動



天王寺区民センター

大阪市天王寺区生玉寺町7-57
電話 06-6771-9981

地下鉄谷町線・四天王寺前（夕陽丘）
下車 2号出口から北へ約100m
（車でのご来場はご遠慮ください）